



兎と亀

2023年は兎年です。脱兎のごとく、と言われるようにものすごいスピードで駆け抜ける様を言います。一方亀は、一步一步という感じです。

兎と亀の話があります。兎は亀を見下しており、かけっこで負けるはずがなく、途中でひと眠りします。亀は辛抱強く一步一步前へ前へと進みます。兎がハッと気付いた時には、亀はゴール間近に迫っています。油断大敵、亀の勝ちです。兎は可愛いですが、なんか現代を示唆しているようにも思えます。

岸田政権は「聞く力」と言いながら国会を軽視し、国民の声を無視し続けており、軍備増強へと踏み込み改憲策動を強めています。さらに、福島原発事故などなかったかのように原発再稼働、次世代革新炉開発、運転期間

のさらなる延長を強行しようとしています。

一方で、教育・福祉を切り捨て、円安・物価高に無策を通し格差拡大、なりふり構わぬ新自由主義政策に邁進しています。この流れを許せば、再び戦争への危機を迎える事になります。怒りです。

しかし、残念ながら労働者運動は抑え込まれており、有権者の半数近くは、諦めか無知と無関心か、選挙行動に参加していません。平和と民主主義の危機です。

社会を支えているのは、働く勤労国民、労働者階級です。今こそ、労働者一人ひとりが、権利意識に目覚め発言し行動していくことが求められています。その為にも、仲間との学習と相互討論を積み上げ、資本や権力に対する怒りを組織する力を結集することです。



労働大学学長 須藤 行彦